資料２－３

ＪＡ北海道厚生連　常呂厚生病院における病床機能の転換状況について

１　病床転換を行った経緯

限られた医療資源の中、一般病棟（急性期病床２５床）と療養病棟（慢性期病床２９床）の２病棟を維持することが困難となり、地域医療構想における必要病床数推計を考慮のうえ、回復期機能の充実を段階的に図ることを目的に療養病床５４床にて１病棟化を図り、令和４年１０月に回復期機能へ病床機能の転換を行った。

今後は、更なる回復期機能の充実を図ることを目的に、医療スタッフの充実などを図りながら、療養病床の一部を「地域包括ケア病床」へ転換する予定としている。

２　医療機関の概要

（１）名　　称　ＪＡ北海道厚生連　常呂厚生病院
（２）所 在 地　北見市常呂町字常呂５７３番地２
（３）病 床 数　療養病床　54 床
（４）病床機能　回復期

３　病床数の変更内容

【変更前】一般病棟（急性期病床 25 床）
　　療養病棟（慢性期病床 29 床）
　　合　　計　54 床
【変更後】療養病棟（回復期病床 54 床）

４　病床数（機能）の変更時期

令和４年１０月１日　　病床機能の転換
（予定）令和５年度中　療養病床の一部を「地域包括ケア病床」に転換予定

５　地域医療構想との整合性

当院は北見市常呂自治区唯一の医療機関として一次・二次救急の他、近隣医療機関や福祉施設との連携など地域包括ケアシステムの一端を担っているが、今回の病床転換における回復期機能の充実については、地域医療構想における必要病床数推計を考慮したものであり、長期にわたる療養が必要な患者を入院させる機能の他、急性期治療を経過した患者の受入や在宅復帰への支援、更には、高齢化の進行が進むこの地域において、住み慣れた場所で暮らす福祉施設利用者や在宅で暮らす高齢者等の急性増悪時の対応などの機能充実を図るもので、地域医療構想との整合性が図られている。